

手形小切手の全面的な電子化に向けて

2022年11月30日

三井住友銀行
事務統括部



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION

電子化推進体制の強化

- 営業部門のKPI項目に「手形小切手削減」を新設（2022/4～）するなど、各種電子化施策を強化
- 小切手を用いない窓口出金手続きは小切手削減効果あり（2022/1～）

電子化推進施策について

- デジタル化のため、手形小切手帳の発行料値上げ(2020/4～)
⇒値上げ前に駆け込み需要で、発行数は一時的に増加したが、
足元の発行枚数は値上げ前の1/5程度に減少（図①）
- 手形小切手の削減状況を営業店評価指数として設定
営業部門からお客さまへのアプローチを強化(2022/4～)
- 東京都中小企業制度融資「手形等電子化支援」の取扱開始
(2022/11～)
⇒資金繰りに不安のある中小企業への丁寧な対応を実施

（図①）

2019年対比 発行推移



※2019年を100%としたときの、2019年対比の発行率

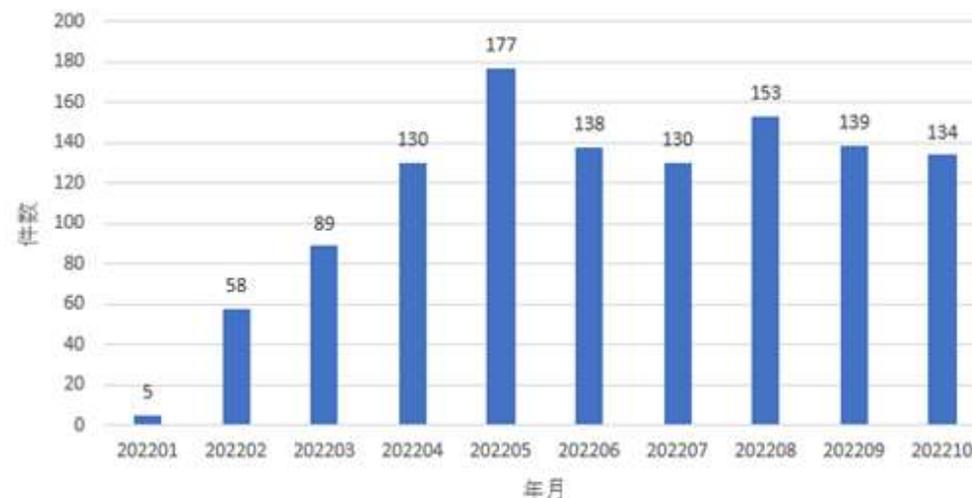
小切手を用いない窓口出金手続き

- 2022/1より当座取引において、印鑑照合とキャッシュカードの提示、暗証番号確認により窓口での出金手続きを制定（小切手不要）
- 累計利用件数は1,153件と小切手削減に貢献（図②）



（図②）

小切手を用いない窓口出金件数



■ 非対面Web受付の拡大

- インターネットバンキング経由でSMBCでんさいネットの申込を全てのお客さまに拡大（2021/12～）
- お客さまは来店不要。デジタルでの取引完結を推進

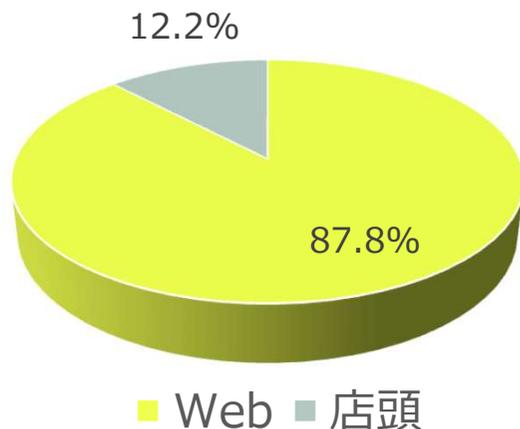
■ 当行の取組

2020/4 非対面でのSMBCでんさいネットの申込受付を開始
（営業担当先に限定）
2021/12 全てのお客さまにSMBCでんさいネットの非対面受付を開始

ポイント

- 来店不要、申込書不要でSMBCでんさいネットの申込が可能
- デジタル申込、バックオフィスでのデジタル事務処理を徹底。お客さまのデジタル化だけでなく、行内処理でのデジタル化を推進
- 初期費用/月額料金は無料（振込や発生記録手数料等は別途発生）

SMBCでんさいネット申込（一見顧客からの2022/7～9月データ）



■ 非対面申込のイメージ

従来



WebからSMBCでんさいネット申込可能に！

現状



お客さまへのデジタル化提案

- デジタル化推進チームによるでんさいの推進を強化
- 全銀協の電子化推進強化月間にあわせて、独自の推進ツールでの周知を開始

概要

- 2021年より、お客さまの「デジタル／セルフ・リモート化ソリューション提案」を実施するデジタル化推進チームを組成
- 法人事務を集約化している営業店に常駐し、法人のお客さまに対するデジタル化をサポート
- 足許、手形電子化のニーズが高まり、**推進チームメンバーのでんさいスキルアップを実施**

デジタルシフトの好事例

- 個人住民税、固定資産税、都市計画税の納税で納付書ごとに1枚の小切手で支払っていた先。デジタル化推進担当より、eLTAX導入、Pay-easy払い、法人キャッシュカードを提案し、切替実施

行内情宣

- 全銀協の推進動画を営業店ロビーで放映
- 社内SNSで全面的な電子化の動きを情報発信
- 全行員向けのWeb Newsで「全面的な電子化」の取組を放映予定

行員全員が全面的な電子化を意識する！！

推進チラシ

SMBC

SMBCグループ

紙の手形・小切手 2026年をめどに廃止へ

取り組みがすすんでいます

ご検討
ください

紙の手形・小切手の電子化

手形・小切手の電子化は年々すすんでいます



●手形・小切手機能の「全面的な電子化」に関する検討会資料抜粋

政府は紙の手形・小切手について、2026年をめどに利用廃止を目指す方針を固め、電子決済システム(でんさい・インターネットバンキングによる振込)への移行を促しています。

手形等 下請代金の支払いサイトが60日以内に!

中小企業庁・公正取引委員会が2024年をめどに下請法の運用見直しを検討しています。

これを見越して、現金振込にシフトする企業も増えています。



支払サイトが短くなると、資金繰りが心配…。

資金繰りについてご不安のある方は、当行にご相談いただき、電子化を前向きにご検討ください